

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：あおぞら谷津保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：園長 芳尾 寛子	定員（利用人数）： 90名（97名）
所在地： 〒236-0016 横浜市金沢区谷津町231-5	
TEL： 045-784-0540	ホームページ： https://www.aozoraneestyle.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 昭和50年11月 1日	
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 あおぞら	
職員数	常勤職員： 17名 非常勤職員 55名
専門職員	（専門職の名称）
	保育士 56名 栄養士 4名
	調理員 2名
施設・設備の概要	（居室数）
	保育室 7室
	（設備等）
	事務室、厨房、ホール、地域子育て支援室、医務室、職員休憩室、園庭、乳児用園庭、プール

③理念・基本方針

【あおぞらの理念】 地域の母親たちの要求から生まれた共同保育の精神を受け継ぎ「保育は幼児教育である」として子ども一人ひとりの全面発達を保障する
【保育方針】 ・産休明けから就学前までの一貫した集団保育を通し乳幼児の全面発達を目指します ・働く父母の就労保障のできる延長保育を致します ・障がい児保育の実践・研究にとりくみます ・地域の中で育児に悩む父母たちと共に子育てについての相談・学習等を行い地域の子育てのセンターとなるよう努力します ・子育ての同じ思いをもつ父母たち地域の人々他の団体とも協力し要求実現のため努力します ・乳幼児の全面発達を保障していくうえで不可欠の条件である職員の資質向上について積極的にとりくみます ・これらを進めていくうえで不可欠な民主的な運営を進めます

④施設・事業所の特徴的な取組

・一時保育 （非定型・緊急7:30～18:30、リフレッシュ8:30～16:30。1歳児クラス2歳児クラスが主。0歳児保育受け入れ。1クラス2名保育士常駐。一日4～6名受け入れ。）

- ・地域子育て支援センターあおぞら・金沢区子育てひろば私立常設園
- ・園庭園舎開放（月～金10:30～12:00・土9:00～12:00・14:00～16:00）
- ・あかちゃんの駅（月～金9:30～16:00）
- ・親子レストラン(毎週木12:00～13:00)
- ・地域身体計測（第3金曜・第4月曜9:00～12:00）
- ・育児講座（年19回）
- ・交流保育（年31回程度）
- ・会員制保育参加あそぼ！会（通年）
- ・地域貸出図書（通年）
- ・延長保育（7時～21時）
- ・完全給食
- ・障がい児保育
- ・あおぞらふれあいまつりin谷津（11月第3日曜日毎年開催）
（参加者：2,000～4,000人）今年で9回目を迎える。主催：あおぞらふれあいまつりin谷津実行委員会
共催：社会福祉法人あおぞら・あおぞら谷津保育園・あおぞらを愛する後援会
後援：あおぞら谷津保育園父母の会・谷津町内会・金沢中部地区社会福祉協議会
「第38回横浜市社会福祉協議会会長感謝状」授与。
横浜市金沢区社会福祉協議会が主催する「第44回金沢区社会福祉功労者表彰及び感謝式典で「社会福祉功労賞」として表彰。
- ・「乳幼児の性と性教育」の取り組み、保育実践を全国の研修会で発表。各著書に出典、紹介されている。
- ・海と山に囲まれた自然豊かな場所にあると同時に災害時には津波や土砂災害の心配もある地域の為、「防災に強い地域づくり」が課題。高齢化、人口減少が進み、自治会役員のなり手不足が生じ、隣近所が気軽に集い、助け合い見守り合える地域を目指す。こどもからおとなまで楽しめるイベント「あおぞらふれあいまつりin谷津」を周辺地域のさまざまな団体・住民が相互に連携・協力して開催。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年 4月 1日（契約日） ～ 2023年 12月 12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（ 2018年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆子ども達は職員に見守られて、のびのびとした園生活を送っています

職員は子ども達が自由にのびのびと園生活を楽しめるように園の環境構成や、装備に気を配っています。室内では素足で生活し、足のあおりを使って全身に刺激を与え発達を促すようにしています。園では戸外で思いきり身体を動かして遊ぶこと、散歩、水遊び、プール遊びを大切にしています。園庭ではごっこ遊びが楽しめるよう木のテーブルや椅子を用意しているほか、泥、水、砂、絵具、紙、廃材、粘土等、色々な素材を使って遊ぶ体験ができるよう工夫しています。また、周辺は自然豊かな環境に恵まれ、海の公園、六国峠、称名寺などを歩くことで、子どもたちは身体を鍛えるだけでなく自然にも親しんでいます。

◆保護者との関係を大切にして、積極的に保護者の悩みや要望を把握して園の運営に生かしています

園では保護者とのコミュニケーションを大切にしています。家庭とは連絡帳で、乳児だけでなく幼児も毎日情報交換をおこなっていて、子どもの様子以外に保護者の悩

みや要望、質問等にも個々に丁寧に対応出来るようにしています。個人の連絡帳の他に、各保育室にホワイトボードを設置し、一日の保育内容や連絡事項を毎日担任が記載したり、保育の写真を掲示するなど、送迎時に保護者に様子が伝わるようにしています。クラス懇談会を年5回実施するほか個人面談、家庭訪問、保育参観等の機会を設けて保育や子どもの姿等を共有できるようにしています。保護者アンケートを実施し、その結果は玄関に掲示するだけでなく、園の自己評価に生かしています。

◆地域とのかかわりを大切に、育児支援だけでなく、地域の活性化にも貢献しています

法人は地域の母親たちの要求で生まれた共同保育の精神を受け継いでおり、地域とのかかわりを大切にしたい方針が設定されています。その取り組みの一つが地域子育て支援センター「あおぞら」の運営です。地域に向け専任の保育士を配置し、日常的に子育ての相談を受けたり、育児講座を開催したり、子育て支援に積極的に取り組んでいます。「あそぼ！会」では地域での子育ての輪をひろげ、孤独に子育てする保護者をなくそうという取り組み、「わくわくあおぞらっこ！」事業では園と地域の親子のつながりをさらに深める取り組みを実施しています。さらに、地域の団体と一緒に「あおぞらふれあいまつりin谷津」を隣接する公園で開催し地域の活性化にも貢献しています。

◆職員が目標設定する際に、課題を整理しどのように取り組むかの具体的な記載が期待されます

職員自己評価・意向調査書が作成されていて、これまで学んだこと、良かったこと及び今後の課題を記入するようになっていきます。ただし、課題については、どのように取り組むか、こういった研修を受けるべきか、いつまでに達成するかといった具体的な内容が必ずしも記載されるようにはなっていません。

設定した課題に取り組む上で、また課題が達成できたかどうか判断するためにも、より具体的な書式が設定され記載されることが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受けるにあたって、あらためて職員みんなで保育を見直すよい機会となりました。

65項目中、3項目以外は、すべてA評価（とても良い）をいただき、職員たちもその結果を聞いて、とても喜んでおり励まされました。

今回「具体的に明文化するとさらに良い」とされた項目については、すぐに取り掛かり、より良い保育・保育運営の実現を目指していきたいと思っております。

これからも、こどもを真ん中に、園・保護者・地域と一緒に手をつなぎ、実践をみんなで行っていききたいと思っております。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり